



公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation



〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL]+81-72-867-1686 [FAX]+81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainfo@hmc.hosokawa.com [URL] www.kona.or.jp

第 52 回 粉体工学に関する講演討論会を東京で開催

- 【日時】平成 30 年 9 月 3 日（水） 午前 10 時 00 分～午後 6 時 30 分
- 【場所】東京ガーデンパレス（〒113-0034 東京都文京区湯島 1-7-5）
- 【主催】公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
- 【企画】粉体技術談話会
- 【後援】ホソカワミクロン株式会社

去る9月3日(月)に、「第 52 回 粉体工学に関する講演討論会」が開催され、「粉体材料の合成および利用を支える粉体技術」をテーマとして、KONA 賞受賞講演を含み、さまざまな材料の粉体プロセスに関わる粒子製作・加工技術の最前線について、6 氏の方からご講演がありました。

最初に細川悦男理事長から、この講演討論会が始まって丁度 50 年目を迎えたことが伝えられ、本会の開催経緯や当財団の国内外の粉体工学分野における活動等について言及されました。



開会式



KONA 賞贈呈式にて
(細川理事長とプラツィニス教授)

その後、KONA 賞の贈呈式が行われ、奥山常務理事から、昨年度に当財団で初めて国際化された KONA 賞の受賞者であるスイス工科大学(ETH)のプラツィニス教授が紹介され、理事長から KONA 賞の盾が手渡されました。

この講演会では、同教授によるエアロゾルナノ粒子の合成と応用に関する講演から始まり、ナノカーボン複合材料、サイアロン蛍光体を用いた発色 LED、車載用電池電極材料、セルロースファイバーなどの最新創製技術と、これらの材料の工業的な生産、ならびに粉体塗装技術などにおいて重要となる分散、

混合、塗布などの粉体処理プロセスに関連した新しい挑戦と課題について分かりやすく解説され、それぞれの講演の後、来場者と講師の間で活発な質疑応答が行われました。

講演討論会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、各講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。来場者数は 160 名を超え、会場は満杯状態となりました。次回(第 53 回)は、大阪での開催を予定しております。



講演討論会風景



懇親会風景